

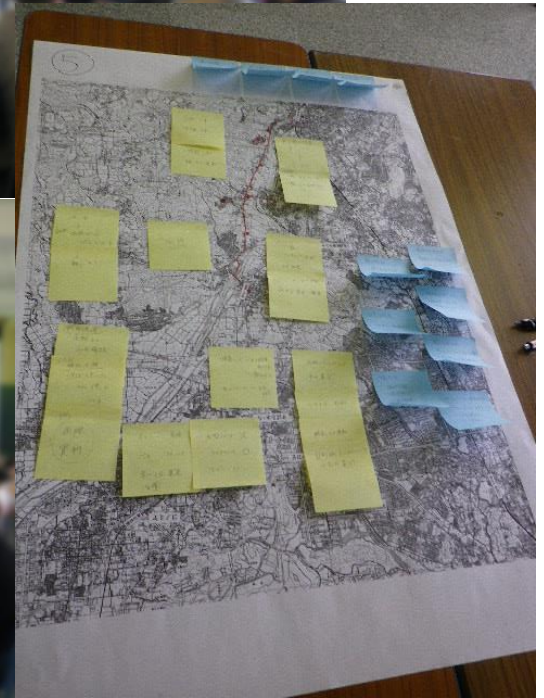
案件（3）彼方上地区地域公共交通について

- 1.実証運行について
- 2.実証運行後のアンケートについて
- 3.今後について（予定）

◇彼方上地区でのこれまでの経過について

- 平成30年4月 公共交通の検討を開始
- 平成30年6月～8月 第1回勉強会
- 平成30年12月 第2回勉強会
- 平成31年4月 住民アンケートの実施
- 令和2年1月 第3回勉強会
- 令和2年度 関係事業者と協議、コロナ禍により検討を休止
- 令和3年度秋～ コロナ禍で休止していた公共交通の検討を再開
- 令和3年12月～
 - ・ 地域による運行計画（案）の検討
- 令和4年5月
 - ・ 河内長野市・警察・運輸局等、関係機関と事前協議
- **令和4年11月～
令和4年12月** 「上セブン号」として、**実証運行を実施**

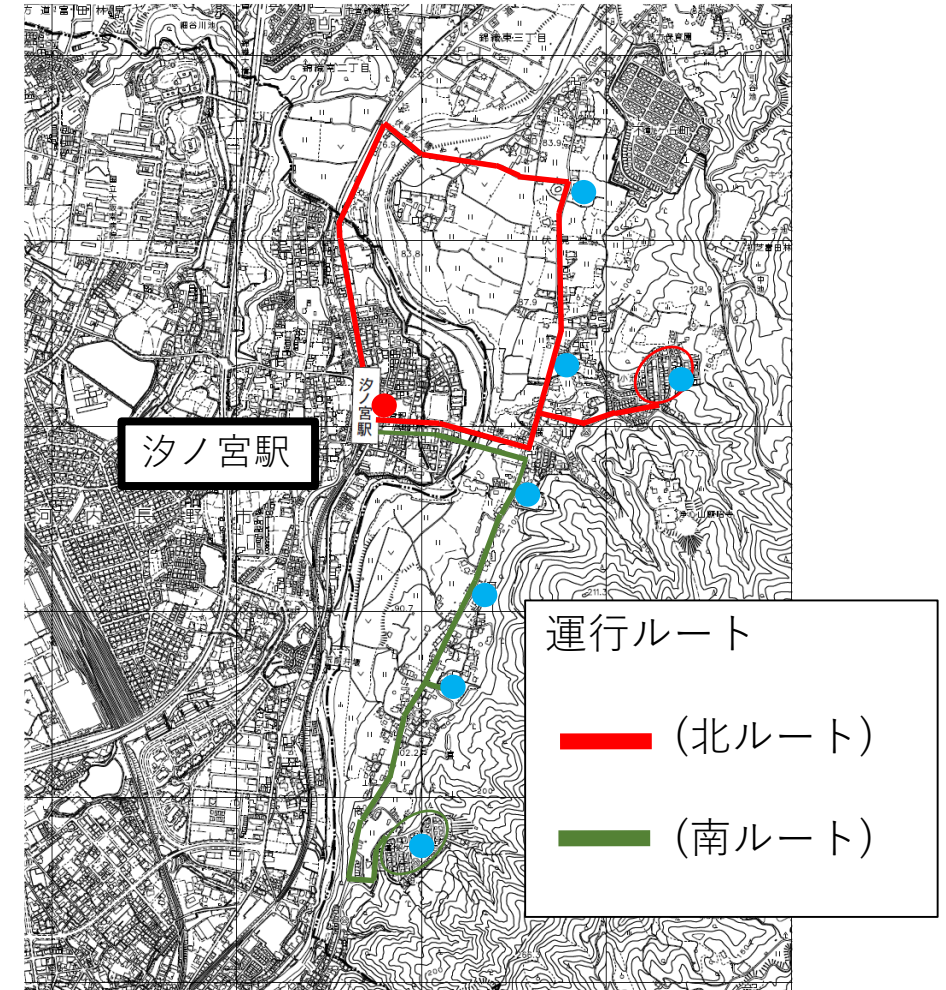
実証運行の結果を踏まえ、停留所位置や運行ルート等を変更し、再度実証運行を行うことを目指している



彼方上地区勉強会
(ワークショップ)の様様

1.実証運行について

項目	内容
名称（愛称）	上セブン号（よみ：かみせぶんごう）
運行事業者	大阪第一交通株式会社
運行ルート	右図のルートの基本として運行
運行期間	令和4年11月1日～令和4年12月28日
料金	大人300円（小児は半額）
支払方法	現金を基本とする
定員を超えた場合	別途、車両を追加して運行



実証運行ルート

2.実証運行後のアンケートについて

彼方上7町会まちづくり協議会では、実証運行後に地域住民全員を対象にアンケート調査実施、アンケートの主な項目については、以下の通りである。

- ・ 居住地区
- ・ 年代
- ・ 認知状況
- ・ 利用回数
- ・ 利用目的
- ・ 普段利用されている駅
- ・ （上セブン号を利用されなかった方に対して）利用されるために必要なこと
- ・ その他、地域公共交通に対してのご意見など

2.実証運行後のアンケートについて

アンケートの集計結果（中間報告）について

- ・ 認知状況 ———— 知っている（約9割）、知らない（約1割）
- ・ 利用回数 ———— 0回（約9割）など・・・
- ・ 利用目的 ———— 買い物（約5割）、その他（約4割）など・・・
- ・ 最寄り駅 ———— 河内長野駅、汐ノ宮駅（約4割ずつ）など・・・
- ・ チラシ ———— 見た（約7割）など・・・
- ・ 上セブン号を話題にしたことがあるか
——— よくある・ある（約7割）など・・・
- ・ 上セブン号は便利だと思うか
——— とても思う・思う（約4割）、分からない（約3割）など・・・
- ・ 上セブン号の利用方法は分かりやすいか
——— とても思う・思う（約4割）、分からない（約4割）など・・・

上セブン号の認知状況は高く、話題にした方は多いが、利用に結びついていないと考えられる。

2.実証運行後のアンケートについて

その他、自由記述欄について（意見が多かった回答の抜粋）

○上セブン号を利用されなかった理由（自由記述）

- ・ 自家用車があるため、利用する必要がない
- ・ 河内長野方面に行きたい、汐ノ宮駅では利用しづらい
- ・ 停留所が少なく、不便

○上セブン号を利用するためには

- ・ 河内長野駅へ乗り入れ
- ・ 停留所の設置場所の増加

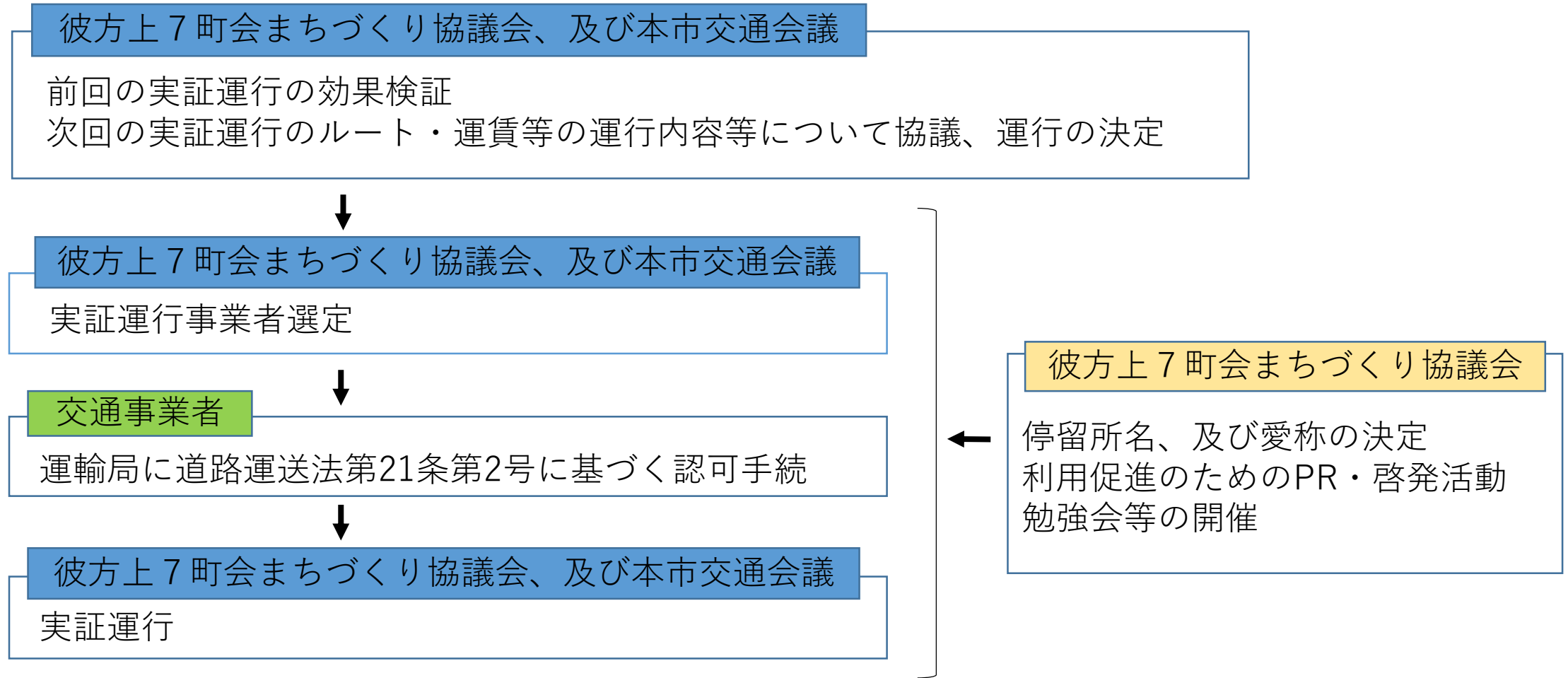
3.今後について（予定）

地域で取り組んでおられる項目について

- ①実証運行後のアンケートを実施
- ②停留所の設置場所についての検討
- ③河内長野駅や結のぞみ病院への乗り入れも含めた運行ルートや、運行時間の検討
- ④さらなる利用促進策の検討

彼方上7町会まちづくり協議会では、次の実証運行については、**年内の運行開始を予定**している。

3. 今後について（予定）



今後の詳細なスケジュールについては、彼方上7町会まちづくり協議会、本市交通会議、交通事業者、及び関係機関との協議により決定していく。